はじめに

目次

第1章	原子力防災訓練の認知・参加・効果		
	―原発立地はどんな民衆知を形成したのか―		
	(松2	卜 行真)	1
1.1	問題意識の背景		1
1.2	原子力防災訓練の概要		2
1.3	原子力防災訓練の認知と参加		5
1.4	発災後の避難状況―訓練の「効果」—	1	1
1.5	原子力防災訓練は民 衆 知を形成するのか	1	.7
第2章	民衆により形成される災害知と津波避難		
	―いわき市沿岸部を事例に―		
	(松本	卜 行真)	21
2.1	問題意識の背景	2	21
2.2	調査対象地の概要	2	21
2.3	災害の記憶と対策・対応の実態	2	22
2.4	災害の伝承は避難につながっているか―被災地区の比較―	2	26
2.5	今後の課題―災害に関する民衆知の社会実装に向けて―	3	31
第3章	沿岸被災地における「安全・安心」の社会実装に向けた課 一豊間地区を事例に—	題	
	(山田修司・村	公本行真)	33
3.1	はじめに	3	3
3.2	問題意識の背景	3	33
3.3	「安全・安心」と「社会実装」	3	34
3.4	防災まちづくりの背景	3	37
3.5	事例 福島県いわき市沿岸地域における津波避難訓練の実装	4	10
3.6	「安全・安心」の社会実装へ向けた今後の課題	4	16

第4章	震災まちづくりにおける官民連携の課題				
	—平豊間地区を事例に—				
		(磯崎	匡・松本	行真)	51
4.1	はじめに			51	L
4.2	復興まちづくりの歴史と市民会議			52	2
4.3	市民会議			53	3
4.4	海まち・とよま市民会議の活動と課題			60)
4.5	官民連携の課題			62	2
4.6	むすび―結果と課題―			64	1
むすびに	かえて		(松之	本 行真)	67
【資料編】 資料1	インタビュー調査結果				71
資料2	『四倉町コミュニティ調査』単純集計表				229